

令和 8 年 3 月 30 日

令和 8 年第一回定例会を終えて（談話）

中央区議会自由民主党議員団・政策の会

幹事長 海老原 崇智

3月30日、令和8年第一回中央区議会定例会が閉会し、令和8年度各会計予算をはじめとする全26議案が可決・承認されました。

区政施行80年を迎える本区を取り巻く環境は、加速度的な人口増加のもと、大きな転換期にあります。人口20万人都市を目前に控え、年少人口や外国籍区民の増加など区民構成は一層多様化する一方、ふるさと納税による財源流出の拡大や物価高騰、人材不足など、区政にはこれまで以上に柔軟かつ的確な対応が求められています。こうした中、「80年の歩みを力に 未来を創る」と題して編成された令和8年度一般会計予算は、1,986億4,975万5千円と、当初予算として過去最大規模となり、多様化する行政需要に応える幅広い施策が盛り込まれました。これらの施策については、昨年9月に中央区議会自由民主党議員団から区長に提出した「令和8年度重点政策要望」が多く反映されたものであり、わが会派として高く評価します。

本定例会の2日目には、昨年につき2回目となる代表質問が行われました。我々は、この代表質問を起点として、予算特別委員会においても新規事業を中心に丁寧な審査を重ねてまいりました。本区では、人口増加に伴う区民生活に資する課題と、築地市場跡地開発や日本橋上空の首都高速道路地下化など、都市力の向上に資する課題が同時に進められる局面にあります。こうした状況のもと、都心区として果たすべき使命を問いつつ、区民の暮らしとの調和をいかに図るかという観点から質疑を重ねてまいりました。

今後も、人口増加に伴う行政需要の増大や、財政運営を取り巻く環境の厳しさは続くことが見込まれます。引き続き、みなさまからのご意見・ご要望をもとに丁寧な議論を重ね、区民の暮らしと本区の未来を見据えた提言を行ってまいります。